釧路地区秋季小中学生　剣道大会

【期　　日】令和２年１０月２５日
【場　　所】湿原の風アリーナ釧路
【大会成績】

〇小学個人　初心者の部

優　　勝	浅　井　優亜良（共　栄）	優　秀　賞	門　馬　　要（美　原）
準　優　勝	門　馬　風　香（美　原）		吉　岡　暖　都（　寿　）
３　　位	宮　下　真　輝（昭　和）		山　下　穂　高（　寿　）
	鈴　木　愛　生（白　糠）		髙　山　遥　翔（鶴ケ岱）

〇小学個人　初級の部

優　　勝	角　　晃　丞（鶴ケ岱）	優　秀　賞	林　　紬（昭　和）
準　優　勝	國　井　春　空（美　原）		野　澤　杏　莉（白　糠）
３　　位	蘇　武　凛　響（鶴ケ岱）		成　澤　葵　紀（鶴ケ岱）
	笹　原　彪　斗（共　栄）		

〇小学個人　中級の部

優　　勝	古　川　結　斗（鶴ケ岱）	優　秀　賞	宮　下　真　希（鶴ケ岱）
準　優　勝	新　谷　美　玖（美　原）		村　田　颯　斗（鶴ケ岱）
３　　位	渡　辺　　真（昭　和）		橋　本　辰　琉（標　茶）
	生　駒　泰　地（　寿　）		大　塚　萌　瑠（標　茶）

〇小学個人　上級の部

優　　勝	有　岡　誠志郎（美　原）	優　秀　賞	佐々木　紗　弥（標　茶）
準　優　勝	國　井　将　吾（美　原）		門　馬　穂乃花（美　原）
３　　位	畑　中　笙　志（共　栄）		藤　田　一　真（標　茶）
	樋　口　　潤（鶴ケ岱）		大　塚　晴　來（標　茶）

〇中学生個人戦

部　　門	優　　勝	準　優　勝	３　　位
男　子　個　人	安　田　拓　史 （北教大付属釧路中）	豊　田　明　生 （美原剣少）	藤　田　龍　真 （標茶剣少）
女　子　個　人	植　本　結　子 （鳥取中）	伊　藤　　心 （美原剣少）	島　田　歩　果 （鳥取中）

令和２年度　釧路地区秋季小中学生剣道大会　審判長講評　　奥田　真由

　コロナ禍にあって、春から十分な活動ができず、選手の皆さんも、苦しい日々を送ってきたことと思います。そのような中でも、7 月位から少しずつ稽古が再開され、10 月に入り、釧路でも審査会や講習会を行うことができました。全釧路学校剣道連盟でも、その経過を踏まえ、今回の大会開催を決定しました。新しい生活様式に沿って、無観客で、感染予防のための様々な工夫を施しての開催となりました。選手の皆さんは、大会の開催にむけて準備のため尽力してくれた、学校剣道連盟の先生方、各学校、少年団、道場などの指導者の方々、支えてくれた家族の方々への感謝の気持ちを持って、参加してくれたことと思います。

　さて、大会の内容についてですが、例年通り、旗が別れる僅差の試合が続きました。以下にいくつか好評を述べさせていただきます。参考にしていただければ幸いです。

〇基本判定試合について 剣道の教えに「大強速軽」という言葉があります。動作が正しく行われて、しっかりと発声ができている事が前提ですが、その上で、「大きい技・強い（必要な強度の）打突・速い動き・軽やかな動き」が必要だという教えです。僅差で敗れた選手の中には、しっかりと基本はできているが、相手と比較して軽やかさに欠けるといった理由で敗れた選手もいたのではないかと思われます。元々、日常から軽やかな動きができている選手にとっては、軽快な剣道をすることは、さほど難しいことではありませんが、体の柔軟性が乏しかったり、必要以上に力が入ってしまう選手にとっては、中々身につけることが難しいものと思います。普段から丹田に力を集中して、無駄な力、無駄な動きを省くようにしながら、強弱や緩急を心がけ、稽古に取り組み、軽やかさ軽快さを身につけて、技量の向上をめざしてほしいと思います。

〇3 本勝負の試合について 中・上級の 3 回戦以上、中学生は 3 本勝負で行われました。感染予防のため、つばぜり合いが封じられての試合でしたので、つばぜり合いからの引き技を得意としていた選手にとっては、不利だったかもしれません。しかし、体当たり直後の引き技や瞬間的につばぜり合いになることは可能でしたので、この機会に、より積極的な試合内容を目指してその場面で引き技を生かしてほしいと思います。また、今後の技量の上達、特に昇段をめざすに当たっては、一足一刀の間合いからの攻防が重視されますので、その間合いでの仕掛け方、攻め崩しの研究をしっかりしてほしいと思います。敗れた選手は技と技の間に気を抜いたり、休んでいる場面が多かったように思います。試合時間の中では一瞬たりとも気を抜かない事が大切です。自分自身で気を抜いていることに気づいていない選手がほとんどだと思いますので、動画を確認したり、先生や仲間に見てもらいながら、どの場面で気を抜いているのか指摘してもらって改善してほしいと思います。 来年度、再来年度と中学校の全道・全国大会が釧路で開催される予定です。釧路から 1 人でも多くの選手がその大会に参加し、活躍してくれることを願っています。「文武不岐」の精神で剣道と学業を両立させて、日々精進を続けてください。